

1. 研究課題名：

土壌からの六価クロム溶出速度に基づく
自然由来・人為由来の判定法の開発



2. 研究代表者氏名及び所属：

大平 慎一（熊本大学大学院自然科学研究科）

3. 研究実施期間：平成 28～30 年度

4. 研究の趣旨・概要

環境中で存在するクロムは、酸化数によって人体への影響が異なるため、特定の酸化数である「六価クロム」に対して規制が設けられている。工業的な用途の多いクロムは、六価クロムとして排出され人為的な汚染を引き起こす一方で、自然由来による汚染も報告されている。本研究では、まず、六価クロムを従来よりも簡便に高感度かつ高精度に分析する手法を開発し、次に、様々な条件における溶出試験を実施することで、六価クロムが溶出する速度や土壌の六価クロム生成能を判別し、生じた汚染が人為由来か自然由来かを判定する手法の提供を目的としている。汚染の由来を科学的に判定することで、効率的な六価クロムのリスク管理に貢献する。

5. 研究項目及び実施体制

土壌溶出液中「六価クロム」分析法と溶出速度による由来解明法の開発
(国立大学法人熊本大学)

